

令和7年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係る モデル事業の実施について

1 モデル事業の公募結果

令和7年3月に(独)環境再生保全機構(ERCA)により採択

○事業名 熱中症対策における積雪寒冷地モデルの構築

○共同実施者 大塚製薬(株)(専門知見の提供)
(株)サングラフィックス(啓発資材の作成)

○事業経費 最大4,736千円 ※一部ノベルティ経費を除く
※費用はERCA負担。ERCAが共同実施者である企業等と契約を締結し、共同実施者に経費が直接支払われる。

2 事業実施状況

(1) 事業の前提(地域特有の課題)

- ・低いエアコン普及率：札幌市で6割(令和5年度環境局)⇔全国平均9割
- ・暑さに対する脆弱性：寒冷地では、より低い暑さ指数で熱中症搬送患者が増加する傾向

(2) 実施事業

6月から8月にかけて、以下のとおり啓発活動を展開

パンフレット「さっぽろ市民の熱中症対策ハンドブック！寒冷地でも油断は禁物！」作成

- ・暑熱順化やクーリングシェルの活用にあてた独自の啓発資材
- ・冊子は24,000部作成。区役所や高齢福祉関係施設等に配架したほか、民生委員(高齢者へのアプローチ)と区保護課(エアコン普及率が低いと想定される生活保護世帯へのアプローチ)への活用協力依頼を実施
- ・電子版は市教育委員会や市立学校・幼稚園を通じ児童・生徒の保護者に周知



パンフレット

セミナー動画の作成

- ・介護予防センターでの介護予防教室等で活用できるセミナー動画
- ・15分程度で3種類(気候変化、水分補給、暑熱順化、ブレクーリング等)
- ・本市広報部のYouTubeアカウントで公開したほか、DVD媒体に複製し、市内の全介護予防センター(53か所)に送付



セミナー動画

環境広場さっぽろ2025(7/26、27)での啓発

- ・啓発ブースを出展。熱中症クイズや対策グッズの展示等を実施し、2日間延べ1,000人以上が来場。
- ・7/26のステージ企画として気象予報士のくぼてんき氏による特別セミナーを実施。約70人程が聴講。



環境広場さっぽろ2025

その他情報発信

- ・15秒の啓発動画を街頭ビジョン(HILOSHI、チカホ等)や区役所のサイネージにて配信
- ・FMラジオ三角山放送局「SDGsワンポイント講座」の枠で啓発放送(5月、8月)

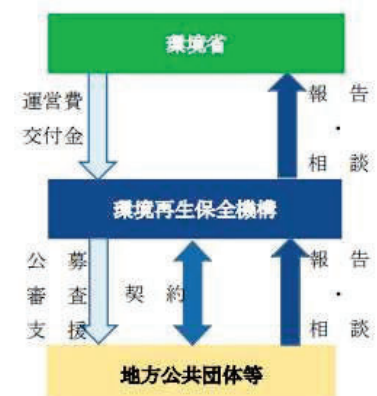
ノベルティ配布

- ・環境広場さっぽろ2025のブースへの誘導のため、ポカリスエット1L用粉末配布
- ・介護予防教室の参加を促すインセンティブとして、市内セイコーマートでポカリスエット又はボディメンテ1本と交換できるクーポン付き啓発チラシを14,000部作成
- ※(株)セイコーマートと連携

3 今後のスケジュール

- 12月 事業実施報告書提出
1月 報告会(予定)

事業体系のイメージ



札幌市熱中症対策
PRキャラクター
すずりん

